



＝ 発行 ＝
 秋田県生涯学習センター
 〒010-0955 秋田市山王中島町1-1
 TEL : 018-865-1171
 FAX : 018-824-1799
 E-mail : sgcen002@mail2.pref.akita.jp
 編集担当：社会教育アドバイザー

平成22年の夏は、猛暑続きです。竿灯は雨に見舞われることなく、観光客に大きな感動を与えて終了しました。花輪ばやし、毛馬内や西馬音内の盆踊り、湯沢の絵灯ろう祭り、能代のおなごりフェスティバル、大曲の花火など、秋田県は、夏に楽しむことのできる行事が盛りだくさんです。また、県内には、自然や歴史、文化に触れて学べる施設もたくさんあります。親子で、または、お孫さん連れで、出かけてみてはいかがでしょうか。新鮮な感動が得られることでしょう。次世代を育てながら、ご自身も「知る喜び」を実感できると思います。



美の国キッズ&ユース・カレッジ

前年度の地域マイスター養成講座の修了者が、企画・立案し運営に携わる、子どもたちのための講座「キッズ&ユース・カレッジ」が、今年度、鹿角、にかほ、東成瀬の3か所で開催されています。子どもたちの体験不足が危惧されている昨今、次のような地域性豊かな体験が企画されました。にかほキャンパスを取材しましたので、紹介します。

<にかほキャンパス> 「にかほ探検隊！」
 7/29 お気に入りの方言をマイカップに！
 8/5 南極の風を感じよう！



方言クイズゲーム



方言入りのマイカップ制作



南極用風力発電見学（試運転中）



白瀬記念館見学



マイカップでおやつタイム

※後日、中島台の湿原散策や川の水質検査なども体験します。

出世など歯牙にもかけず兜虫
 はつなすび
 初茄子焼いて炒めて御御付け
 ソーダ水我も我もと零しけり
 武藤 四郎 作



<p><鹿角キャンパス> 「民話の里探検隊」 ～だんぶり長者編～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・だんぶり長者の話、天狗橋の話 ・吉祥院、大日堂等の見学 ・写生 ・郷土料理（けの汁づくり）
<p><東成瀬キャンパス> 「東成瀬のお宝発見し隊」 ～子ども仙人修行に チャレンジ！～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昆虫との触れ合い、植物での遊び、マイ箸づくり ・イワナの掴み取り、飯ごう炊飯 ・ホテル観察、カブトムシなどの虫採り、川遊び

子どもたちの充実した放課後や休日のために

子どもたちの放課後や休日の安心・安全のために、秋田県では、「放課後子どもプラン推進事業」を行い、「放課後子ども教室」や「放課後児童クラブ」に力を入れております。平成22年7月7日の七夕の日に生涯学習センターで、二つの研修会が開催されました。午前は、「第一回放課後子どもプラン指導者研修会」、午後は「放課後子ども教室コーディネーター等研修会」でした。



平成22年度現在、秋田県内には193か所の「放課後児童クラブ」があり、7,614名の児童が利用しています。また、「放課後子ども教室」は、小学校や児童館・児童センター、公民館などを実施場所として、142教室が開設されています。指導員・安全管理員・学習アドバイザーの方々は、創意工夫を重ねてより充実した内容にしようと頑張っています。

また、県内では、両事業を連携させて、運営上または体験活動の充実や安全面で効果をあげているところがあります。研修の様子を紹介します。

< 放課後児童クラブ >

保護者が仕事に就いている小学校1～3年生の児童を対象にして、遊びや学びの居場所になっている。指導員がおり、健康管理や安全の確保、遊びの指導や基本的な生活習慣について援助をしている。

< 放課後子ども教室 >

小学校1～6年の全児童を対象にして、安全管理員や学習アドバイザーが、健康管理や安全の確保、遊びや体験活動、学習活動の支援や指導を行っている。



佐藤圭吾氏指導のシェイピングゲーム



情報交換



中根惇子氏の講義

「第一回放課後子どもプラン指導者研修会」

「放課後子どもプランの状況等について」県担当者からの説明がありました。その後、「特別支援を要する子どもの理解と支援について」秋田県立栗田養護学校教諭（兼）教育専門監 佐藤圭吾氏による講義と事例研究指導が行われました。

「特別支援を要する子どもを教師は、『困った子ども』と捉えがちだが、実は、『困っている子ども』と捉えるべきである。教師が、問題行動の解決方法を教えて、適応行動を増やしていくことが大事。ハードルの低い階段を設定して、繰り返して経験させていくことが効果的な指導の方法である」などの講義がありました。また、相手を肯定の言葉のみで誘導するシェイピングゲームを参加者は学びました。最後に、「困っている子ども」の導き方について、具体的な指導があり、それぞれの仕事に直結した研修となりました。

「放課後子ども教室 コーディネーター等研修会」(中央地区)

「放課後子ども教室における体験活動について～子どもの豊かな育みは体験から～」
国立教育政策研究所 中根惇子氏

「それぞれの成長時期の『発達課題』を十分に達成しないまま成長したことが、人とかかわる力の欠如、不満耐性の低下、コミュニケーション能力の低下、積極的な意欲の欠如など、子どもたちの諸問題の要因になっている。子どもたちの豊かな成長のためには、発達段階にふさわしい人とかかわりや体験活動が必要である」等、「放課後子ども教室」における体験活動の奨励にかかわる講義となり、必要性の高い内容でした。